

人権教育にかかわる年間指導計画(第1学年)

江戸川区立篠崎第五小学校

年間指導計画作成のための方針

○児童が一人一人のよさを認め、よりよい人間関係を作るために、かかわり合い、学び合う学習活動を行う。

○児童の豊かな人間性を育み、生命尊重の心情や態度を育てる指導を行う。

○体験的な活動を重視し、人権課題について学ぶことができるようにする。

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	人権課題を考慮しながら学年・学級目標を設定する。	自他の大切さを認め、児童相互の望ましい人間関係を築き、児童の学校生活への適応を図る。			一人一人が個性や能力を発揮して活躍できる場や機会を設定し、学級の一員として認められているという存在感や安心感をもつことができるようにする。			この1年間での自他の良さの伸びや高まりを実感できるようにする。			
			言語環境を整え、教育環境の整備を図								
各教科・読書科	算数 児童一人一人が基礎的・基本的な知識・技能を習得し、思考力・判断力・表現力を高めるための、TTによるきめ細かい授業										
	国語 「はなましよう」「きましよう」先生や友達に聞いてもらいたいことを考える。	国語 「おおきなかぶ」音読を通して、登場人物の気持ちを想像する。					国語 「たぬきの糸車」場面を想像し、楽しく読む。		国語 「これはなんでしょう」友達との交流を楽しむ。	国語 「ずうっと、ずっと、大好きだよ」場面ごとの登場人物の気持ちや様子の変化を想像しな	
		図画工作「体育発表会の絵」などを通して、自他の作品の良さに気付く。								図画工作表したいものに合わせて材料を選び、想像したりする。	
特別の教科・道徳	礼儀 あいさつの大切さを知り、気持ちのよいあいさつをしようとする。	思いやり 親切 身近な人に温かい心で接し、親切にしようとする。	生命の尊重 かけがえのない生命の尊さに気付き、大切にしようとする。	信頼・友情 友達と仲良く助け合っていこうとする。	信頼・友情 友達のことを思い、助けようとする。	善悪の判断 正しいと思ったことは、勇気を、もって行おうとする。	思いやり 親切 身近な人に温かい心をもち、親切にしようとする。	生命の尊重 身近な生き物の誕生や成長を優しく見つめ、命あるものを大切にしようとする。	思いやり 親切 友達や幼い人に温かい心をもち、親切にしようとする。	生命の尊重 かけがえのない生命の尊さに気付き、大切にしようとする。	善悪の判断 よいと思うことは、すすんで行おうとする。
生活科	「がっこうだいすき」 友達や2年生と一緒に学校を探検して、学校について知る。	「はなをそだてよう」 自分で花を育てて、草花に関心を持ち、命を大切にしようとする。			「いきものとなかよし」 小動物が生命をもっていることに気付き、大切にしようとする。	「たのしさいっぱいあきいっぱい」 秋の生き物や、草花にふれ、命の不思議さにふれる。					「もうすぐ2年生」 1年間の成長を見つめ、自分なりの課題を設定する。
特別活動	たてわり班活動、異年齢集団による児童の関わりを重視した活動										
	学級活動 係や当番の仕事を通して、クラスや友達の役に立っていることを認め合う、	体育発表会 協力合って演技をする。友達を応援する。						学芸的行事 友達のよさを認め合う。			学級活動 自己の成長を確認し、新学年に向けて、新たな目標を考える。
生活指導	基本的生活習慣の徹底										